



北京+20

JAWW（日本女性監視機構）

ポスト 2015 開発目標/SDGs（持続可能な開発目標）連続学習会 第 2 回

「北京+20 以後の課題と戦略—ポスト 2015 開発目標/持続可能な開発目標（SDGs）」

日時：2015 年 8 月 21 日：(金) 10:00~12:00

場所：国立女性教育会館(NWEC)研修棟 301 号室（埼玉県比企郡嵐山町菅谷 728 番地）

趣旨：

2016 年 3 月に開催される第 60 回国連女性の地位委員会(CSW)の優先テーマ「女性のエンパワーメントの持続的発展へのリンク」の理解を深めるため、ポスト 2015 開発目標/持続可能な開発目標（SDGs）に関する連続学習会を開催します。

その第 2 回目は、国立女性教育会館(NWEC)平成 27 年度「男女共同参画推進フォーラム」ワークショップとして、参加者とともに 2015 開発目標/SDGs の内容を確認・共有するとともに、これを日本のジェンダー平等や女性・少女のエンパワーメントの推進に活かすための取組について話し合います。

プログラム：

1) パネルディスカッション（講師による説明 各 15 分程度）

- ① ポスト 2015 開発目標/SDGs について 堀江由美子
- ② 日本におけるポスト 2015 開発目標/SDGs の実施にむけて 今井麻希子
- ③ ポスト 2015 開発目標/SDGs におけるジェンダー平等と女性のエンパワーメント 織田由紀子

2) 会場との話し合い

講師、コーディネーター紹介

堀江由美子 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン アドボカシー・マネージャー

国内 NGO のカンボジア駐在員として農村女性の生計向上事業に従事した後、2002 年にセーブ・ザ・チルドレン・ジャパン入局。海外事業部、法人連携部を経て、2010 年より政策提言を担当。子どもの権利実現の観点から保健や教育、ポスト 2015 年開発アジェンダ、人道危機などのアドボカシーに関わる。共著に『ミレニアム開発目標：世界から貧しさをなくす 8 つの方法』（合同出版）。

今井麻希子 国連生物多様性の 10 年市民ネットワーク（UNDB 市民ネット）企画提言委員/SDGs・防災と生物多様性グループリーダー

NPO/NGO、企業、行政、研究者などの多様なステークホルダーがさまざまなアクションを起こす場「サステナビリティ CSO フォーラム」の運営等に携わり、SDGs を契機とした多様な主体の連携促進に取り組んでいる。

織田由紀子 JAWW 代表/特定非営利活動法人 北九州サステナビリティ研究所 研究員

日本の市民社会によるポスト 2015 開発目標に向けてのアドボカシーグループ「ポスト 2015 NGO プラットフォーム」のジェンダー分野世話人の一人。